

# 地域と大学の自由な連携： 姪浜西南大学まちの進捗(3)

小 出 秀 雄

## 1. はじめに

西南学院大学教育インキュベートプログラム「姪浜（めいのはま）西南大学まち～域学連携による実践コミュニティの教育効果～」は、学生の社会力向上と地域の活性化を目的とした、2015年度後期から2018年度の3年半の取組である。現在の大学が組織として行うべき教育・研究・社会貢献の3領域をすべてカバーし、地域の方々と学生たちおよび教員（筆者）が常に試行錯誤を繰り返す、取組の内容を変化させていった。なお、インキュベートプログラムが終わった2019年4月からは、「西南まちづくりラボ<sup>1</sup>」という団体名で活動している。

本稿では、姪浜西南大学まちの記録報告の3回目として、2017年度に実施した主な取組を紹介する<sup>2</sup>。

まず、図表1のマップに示すように、それまでの福岡市西区の姪浜地域、早良（さわら）区の西新（にしじん）校区、中央区地行浜（じぎょうはま）のヒ

---

1 2016年度から福岡市が募集している「“ふくおか”地域の絆応援団」に登録している、市の公認団体である〈<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/community/life/meinohamaseinandaigakumati.html>〉。

2 2014～2015年度の取組については、小出秀雄「地域と大学の自由な連携：姪浜西南大学まちの進捗(1)」(『西南学院大学経済学論集』第52巻第2・3合併号、43-65頁、2017年11月)を、2016年度の取組については、小出秀雄「地域と大学の自由な連携：姪浜西南大学まちの進捗(2)」(『西南学院大学経済学論集』第53巻第3・4合併号、37-62頁、2019年3月)を、それぞれ参照のこと。また、査読を経て学会誌に掲載された論考として、小出秀雄「交流拠点とネットを活用した地域・大学連携」(『地域活性研究』第9巻、144-153頁、2018年3月)がある。



図表 1 2017年度の活動マップ (筆者作成)

ルトン連携講座での取組に、2017年度は姫浜校区自治協議会との新しい祭りの企画運営、トヨタ・西日本新聞社などの室見川（むろみがわ）でのイベントへの協力が加わった。また同年度は、専門のゼミである3年ゼミ（演習Ⅰ）以外の学年のゼミも、地域活動チームに加えた。

## 2. 2017年度の姫浜西南大学まちの出来事とチーム編成

図表2は、2017年度の出来事である。これらはいくまで筆者が把握している内容であり、学生たちの自主的な活動については十分フォローできていない可能性を、お断りしておく。

No.	月/日	出来事	場所
1	4/15(土)	校区安全パトロール	西新校区 (早良区)
2	4/20(木)	3年ゼミチーム名決定ワークショップ	西南学院大学 (早良区西新)
3	5/3(祝) & 4(祝)	第10回ワンデイショップ in めいはま	M's コミュニティ & 買物広場 (西区姫の浜)
4	5/3(祝) & 4(祝)	西区どんたく (手伝い)	西区役所 (西区内浜)
5	5/20(土)	M's としょかんオープン (以後, 基本的に毎週土曜日)	M's コミュニティ
6	5/20(土)	校区安全パトロール	西新校区
7	5/24(水)	1年ゼミ西新まち歩き研究, 2年ゼミ室見まち歩き研究	西南学院大学
8	5/25(木)	3年ゼミチーム実践報告・第1回	西南学院大学
9	5/28(日)	第11回福岡県景観大会 (学生発表)	アクロス福岡 (中央区天神)
10	6/10(土)	唐津街道サミット in 姫浜	宮の前公会堂 (西区姫の浜)
11	6/11(日)	AQUA SOCIAL FES!! 2017 in 福岡・第1回	室見川河川敷 (西区愛宕周辺)
12	6/17(土)	校区安全パトロール	西新校区
13	6/28(水)	1年ゼミ室見まち歩き研究, 2年ゼミ姫浜まち歩き研究	西南学院大学
14	6/29(木)	3年ゼミチーム実践報告・第2回	西南学院大学
15	7/7(金)	地域とつながる浴衣デイ (学生企画)	西南学院大学周辺
16	7/8(土)	校区安全パトロール	西新校区
17	7/16(日)	姫浜まつり (手伝い)	M's コミュニティ & 買物広場
18	7/26(水)	1年ゼミ姫浜まち歩き研究, 2年ゼミ西新まち歩き研究	西南学院大学
19	7/27(木)	3年ゼミチーム実践報告・第3回	西南学院大学
20	7/29(土)	校区安全パトロール	西新校区
21	8/5(土)	校区安全パトロール	西新校区
22	8/6(日)	オープンキャンパス教育 IP 紹介 (学生発表)	西南学院大学
23	8/7(月) & 8(火)	探題塚柵設置工事	探題塚 (西区姫の浜)

図表2 2017年度の出来事 (筆者作成)

No.	月/日	出来事	場所
24	8/19(土)	子どもと親のきらく会 「夜の学校探検」(手伝い)	西新小学校(早良区西新)
25	8/26(土)	校区安全パトロール	西新校区
26	8/27(日)	探題神社まつり(学生企画)	探題塚
27	9/1(金)	私立大学環境保全協議会第31回夏 期研修研究会(学生発表)	福岡大学(城南区七隈)
28	9/1(金)	マイタウン姫浜取材	西南学院大学
29	9/11(月)	AQUA SOCIAL FES!! 2017 in 福岡ワークショップ・第2回	西南コミュニティーセンター (早良区西新)
30	9/15(金) &16(土)	全国まちづくりカレッジ2017 in 宇治(学生発表)	京都文教大学(京都府宇治市)
31	9/16(土)	まちづくりコーディネーター養成 セミナー in 姫浜(学生発表)	宮の前公会堂
32	9/16(土)	校区安全パトロール	西新校区
33	9/22(金)	実践講座! 特許活用で企画提案プ レゼン体験・第1回	西南コミュニティーセンター
34	9/24(日)	姫の浜文化祭 Vol.2(手伝い)	姫浜住吉神社ほか(西区姫の浜)
35	9/25(月)	西日本新聞取材	西南学院大学
36	9/29(金)	実践講座! 特許活用で企画提案プ レゼン体験・第2回	西南コミュニティーセンター
37	10/6(金)	実践講座! 特許活用で企画提案プ レゼン体験・第3回	西南コミュニティーセンター
38	10/7(土) ~9(祝)	ウエストコートオータムフェスタ (手伝い)	ウエストコート姫浜(西区内浜)
39	10/8(日)	AQUA SOCIAL FES!! 2017 in 福岡・第2回	室見川河川敷
40	10/20(金)	実践講座! 特許活用で企画提案プ レゼン体験・第4回	ヒルトン福岡シーホーク (中央区地行浜)
41	10/25(水)	1年ゼミ&2年ゼミチーム実践報 告・第1回	西南学院大学
42	10/27(金)	校区安全パトロール	西新校区
43	10/28(土)	めいのはまハロウィン&学生市場 (学生企画)	M's コミュニティほか
44	10/28(土)	子どもと親のきらく会「ハロウ イン仮装パトロール」(手伝い)	西新校区
45	11/2(木)	3年ゼミチーム実践報告・第4回	西南学院大学

図表2 つ づ き

No.	月/日	出来事	場所
46	11/3(祝) & 4(土)	第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内 (学生発表4件)	東北公益文科大学 (山形県酒田市)
47	11/4(土)	ふくおか文化ボランティアフォーラム2017 (学生発表)	エルガーラホール (中央区天神)
48	11/6(月)	実践講座応用編・プライダル企画プレゼン (学生企画)	西南コミュニティーセンター
49	11/6(月)	AQUA SOCIAL FES!! 2017 in 福岡ワークショップ・第3回	西南コミュニティーセンター
50	11/8(水)	第22回大学改革フォーラム (学生発表)	西南学院百年館 (早良区西新)
51	11/10(金)	実践講座！特許活用で企画提案プレゼン体験・第5回	西南コミュニティーセンター
52	11/24(金)	実践講座！特許活用で企画提案プレゼン体験・第6回	西南コミュニティーセンター
53	11/24(金)	校区安全パトロール	西新校区
54	11/29(水)	1年ゼミ&2年ゼミチーム実践報告・第2回	西南学院大学
55	11/30(木)	3年ゼミチーム実践報告・第5回	西南学院大学
56	12/1(金)	実践講座！特許活用で企画提案プレゼン体験・第7回	西南コミュニティーセンター
57	12/1(金)	RKB ラジオ生放送 (学生出演)	西南コミュニティーセンター
58	12/10(日)	姫浜校区・ふれあい餅つき大会と環境美化活動 (手伝い)	姫浜小学校 (西区姫の浜)
59	12/12(火)	ワーカーズ・フォルケホイスコーレ (民衆大学, 学生発表)	あすみん (中央区今泉)
60	12/15(金)	実践講座！特許活用で企画提案プレゼン体験・第8回	西南コミュニティーセンター
61	12/16(土)	Q-conference 2017ポスターセッション (学生発表)	福岡工業大学 (東区和白東)
62	12/19(火)	青色防犯パトロール実施者講習	西新公民館
63	12/22(金)	富山国際大学学生取材	M's コミュニティ
64	12/22(金)	年末特別警戒パトロール	西新校区
65	1/13(土)	姫浜校区新年賀詞交歓会	レストランゆずのき (西区姫浜駅南)
66	1/18(木)	新ゼミ・現役ゼミ顔合わせ会 (3年ゼミ最終)	西南学院大学
67	1/26(金)	校区安全パトロール	西新校区

図表2 つ づ き

No.	月/日	出 来 事	場 所
68	2/2(金)	実践講座！特許活用で企画提案プレゼン体験・第9回	ヒルトン福岡シーホーク
69	2/3(土)	開運フェスタ（手伝い）	M's コミュニティ
70	2/22(木) &23(金)	全国まちづくりカレッジ in 伊勢（学生発表）	皇學館大学（三重県伊勢市）
71	2/23(金)	校区安全パトロール	西新校区
72	3/6(火)	LOCAL GOOD STATION（学生発表）	Fukuoka Growth Next（中央区大名）
73	3/9(金)	ふくおか地域貢献活動サポート事業報告会	福岡県吉塚合同庁舎（博多区吉塚本町）
74	3/23(金)	校区安全パトロール	西新校区

図表2 つ づ き

チーム名	グローアップ姫浜	VIVA!! こねのはま	室民（むろたみ）	ナポレオン	計
活動地域	西区姫浜地域	西区姫浜地域	西区愛宕・早良区室見	早良区西新地域	
活動内容	姫浜周辺の地域資源整理、まち歩き企画運営、調査研究	M'sコミュニティ（姫浜商店会連合会）のイベント企画運営、調査研究	AQUA SOCIAL FES!! in 福岡・ワークショップ運営、調査研究	西新校区安全パトロール、青パト免許取得、校区イベント運営、調査研究	
3年人数	5	5	5	3	18
4年人数	4	3	4	0	11
2年人数	5	5	5	5	20
1年人数	6	7	7	4	24
計	20	20	21	12	73

図表3 3年ゼミを中心とした4チーム編成（人数は2017年4月時点、筆者作成）

図表3は、2017年度のチーム編成の概要である。3年ゼミを中心として、前年度姫浜でチーム活動をした4年ゼミ（演習Ⅱ）、および2年ゼミ（基礎演習Ⅱ）と1年ゼミ（基礎演習Ⅰ）の受講生も、各人の希望に基づいて各チームに入ってもらった<sup>3</sup>。そのうち3つのチームは20名程度、4チーム合計で70名を

3 各チーム名は、3年ゼミ内でのワークショップで、チームのメンバーが決めたものである。

超えているが、途中2年と3年の数名がゼミからフェードアウトしたため、実質人数はこれより少ない。

さて、前々稿の小括で示した2015年度終了時点での課題は、以下の通りであった<sup>4</sup>。これは前稿でも示したのであるが<sup>5</sup>、結果的に姫浜西南大学まちの全期間を通じて、課題であり続けた。

- (1) 学内外で取組内容が知られていないため、広報の努力が必要である。
- (2) 頭角を現す学生は全体のうちわずかであり、確率を高める余地がある。
- (3) 姫浜における状況が常に変わっていくため、より柔軟な体制をつくる。

(1)については引き続き、各種メディアの取材を積極的に受け入れ、2017年度は新聞だけでなく、ラジオやテレビでも取り上げられた。それらの情報は、本稿の最後に掲載している。

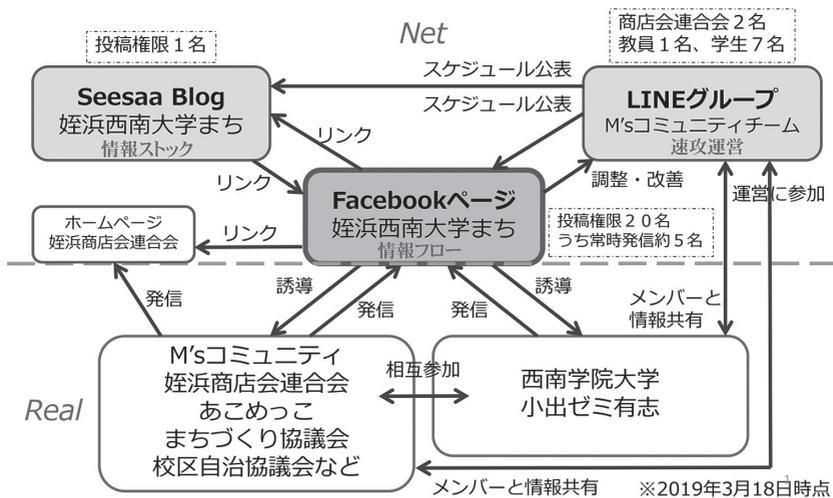
(2)に関しては、次節で各チームの活動を紹介するように、チーム全員で分担して活動に関わるように促した。前述のように2017年度は、3年生のチームをコアとして、4年・2年・1年の学生が随時参加する形にしたが、まめに参加した学生もいれば、何もしなかった学生も少なからずいた。チーム単位で見ても、全般的に思い通りに活動できたチームもあれば、中途半端に終わったチームもあった。ただ、個人レベルで見ると、地域の出来事を自分事としてとらえ、積極的に活動や調査研究を行う学生が、以前より増えた。

(3)についても、取組当初から掲げていた姫浜での「ネット・リアル構造」(図表4)を踏襲しつつも、2016年度以降は姫浜以外の活動やチームが増えたため、情報の共有や学生間でのコミュニケーションが難しくなった。加えて、今の学生のほとんどはFacebookではなく、LINE、Twitter、InstagramなどのSNSを利用している。そのため、(Facebookに依存している)大人の側から学生発信の情報をとらえづらいことと、本人たちが思うほど情報が世間に伝わっておらずイベントに人が集まらないことが、現在の課題となっている。

---

4 小出(2017), 63頁。

5 小出(2019), 47頁。



図表4 姫浜西南大学まちのネット・リアル構造 (取組最終時点, 筆者作成)

### 3. チーム活動の概要

本節で紹介するチーム活動は、2017年11月3～4日に山形県酒田市の東北公益文科大学で開催された「第4回地域課題解決全国フォーラム in 庄内」(写真1)で、各チームの代表が報告した要旨である。なお、これらはいくまでフォーラム開催時点での概要であり、そのあとの調査研究の成果は反映していない。また、報告で使用したスライドを、各チーム2枚ずつ添付している。

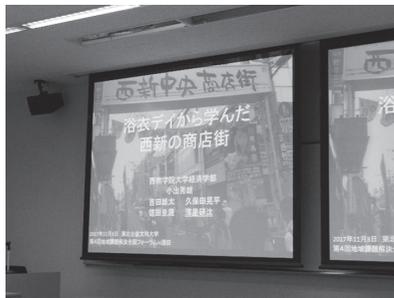


写真1 地域課題解決フォーラムでの発表 (2017年11月3日筆者撮影)

### 3.1. グローアップ姪浜：姪浜をもっと元気に！

グローアップ姪浜は、福岡市西区の姪浜地域で調査・活動しつつ、身近な市町村の取組を学び、姪浜の活性化を模索している。本報告では、福岡市に隣接する福岡県糸島（いとしま）市のブランディング手法を参考に、姪浜を盛り上げていくための方策を検討する（図表5）。

姪浜は福岡市の西部に位置し、同市の中心部である天神や博多とは、市営地下鉄空港線であつながっている。地下鉄はそのままJR 筑肥（ちくひ）線とつながっていることから、姪浜より西の佐賀県唐津市や福岡県糸島市から多くの人々が通勤・通学で姪浜を通っている。

姪浜駅の北側には旧唐津街道が通り、かつては商店が立ち並び大いに賑わっていたが、現在はシャッターが閉まった建物が目立つ。一方、さらに北の海沿いと駅の南側には大きなショッピングモールがあり、旧街道のゾーンは沈んでいる印象が強い。

福岡市の西隣の糸島市は山と海に囲まれ、移住したいまちとして全国的に名高い。糸島市は地域ブランディングとして、①タイプ別にアプローチの使い分け、②将来を見据えた個別製品のブランド化、を実践している。

①については、福岡都市圏や北部九州の人向けには糸島の魅力を広げ多様性を深めるようアピールする一方、糸島を知らない人向けには「はじめまして、糸島市です」という姿勢で、東京都心でマルシェや移住者トークセッションなどを展開している。②については、地産地消の組織化、新商品の開発促進を経て販路開拓につながる流れをつくっている。



図表5 グローアップ姪浜のプレゼン資料（学生作成）

姫浜地域の強みと弱みを分類した上で、地域イメージの向上から地域ブランドの向上につなげるこのようなアプローチを活用して、姫浜のブランディングを積極的に提案していく。

### 3.2. VIVA!! こねのはま：姫浜さるく

VIVA!! こねのはまは、福岡市西区の姫浜地域において人と人のつながり＝「コネクション」をつくるため、活動と研究を行っている。本報告では、姫浜の歩みと歴史スポット、課題を明らかにし、姫浜のよさを再発見する試みを紹介する（図表6）。

姫浜は、神功皇后（じんぐうこうごう）が三韓征伐の帰途に訪れた地であり、濡れた女性の衣が干された浜、すなわち「相（あこめ）の浜」が転訛して姫浜とよばれるようになった、と言い伝えられている。

姫浜はもともと漁村だったが、江戸時代に唐津街道の宿場町「姫浜宿」（めいのはましゅく）として繁栄し、さらに1914（大正3）年には姫浜鋳業株式会社（→早良鋳業株式会社）が起業し、炭鋳町としても発展していった。

早良郡姫浜町は1933（昭和8）年に福岡市に編入され、1976（昭和51）年に現在の町名（西区姫の浜）になった。なお、姫浜は地域名や駅名であり、町名は「姫の浜」である。

旧唐津街道周辺には、貴船神社、光福寺、興徳寺など、歴史ある寺社が多く密集している。その辺りは現在マンションや住宅が立ち並び、住んでいる人は多いものの、人同士のつながりが弱い。昔ながらのまち並みを生かして活気を取り戻し、住宅のまちではなく、みんなの心に残るまちにしていきたい。



図表6 VIVA!! こねのはまのプレゼン資料（学生作成）

そこで2017年10月21日に、姪浜を歩き回りカフェで昼食をとり、姪浜のよいところを再発見するという「姪浜カフェ巡り」を開催した。告知期間が短かったため参加者が少なかったが、地域資源の気づきがいくつもあり、チームとしては収穫の日となった。

今後は「姪浜さるく」ツアーなど、外から来た人が短時間で回ることができ、各スポットで「インスタ映え」を競い、SNSで発信を楽しむような企画を実行していく。

### 3.3. 室民（むろたみ）：ごみをなくし室見の自然を守ろう

室民は、福岡市内を流れる室見川の環境保全活動を、学生・地域の方々・企業と行っている。本報告では、私たちが地域と交流することで室見というまちについてより深く知り、そこから見えてきた室見の歴史や課題を明らかにする（図表7）。

福岡市早良区室見は主に住宅街であり、まちの西側に室見川が流れている。全長約15kmの二級河川である室見川は、福岡・佐賀県境の井原山（いわらやま）を源流に、曲淵（まがりぶち）ダムを經由して博多湾へ流れている。

室見川の中流・上流域にはホタルを見ることができる場所があり、環境庁（当時）の「ふるさといきものの里100選」に選ばれた（タイトルは「室見川中上流一帯のほたる」）。また室見川は、日本で初めてハシボソカモメが観察されたことでも知られている。

一方、室見川下流域では春先に、シロウオ漁が行われている。シロウオは、毎年2月から4月にかけて博多湾から上ってくる魚で、高級食材として珍重さ



図表7 室民のプレゼン資料（学生作成）

れている。現在、室見川シロウオ組合がヤナ（梁）を用いた伝統的な漁を継承しているが、高齢化と後継者不足という問題を抱えている。

室民は2017年6月11日と10月8日に、室見川下流でごみ拾いと潮干狩りを行う「AQUA SOCIAL FES!! in 福岡」に参加し、協力団体として室見川流域の説明や清掃活動の総括を行った（主催：西日本新聞社、共催：NPO 法人グリーンバード福岡チーム）。1回目は100人以上、2回目は90人以上の大学生や親子連れが参加し、25リットルのごみ袋で20袋（1回目）、25袋（2回目）のごみを回収した。

より多くの人に室見川の豊かな生態系とごみ減量の必要性を知ってもらうため、今後も活動と広報に工夫を凝らす。

### 3.4. ナポレオン：浴衣デイから学んだ西新の商店街

ナポレオンは、福岡市早良区西新の商店街と本学のつながりをより強めることを目的として、調査および活動を行っている。本報告では、その一環として開催した七イベント「浴衣デイ」の概要と結果、課題について明らかにする（図表8）。

姫浜西南大学まちは2016年度に「西新支店」を創設し、学生有志が西新校区の防犯パトロールや西新小学校でのイベントのサポートを行っている（それぞれ西新校区自治協議会、西新小学校・子どもと親のきらく会が主催）。そして2017年7月7日に、西新商店街と西南学院大学を会場とする浴衣デイを開催



図表8 ナポレオンのプレゼン資料（学生作成）

した。

浴衣デイは通算4回目の開催であり、浴衣を着て講義を受けることでいつもと違う一日を過ごしてもらい、留学生と日本人に日本文化の良さを知ってもらい国際交流を行う、などを目的としている。

今回は「地域とつながる浴衣デイ」と題し、浴衣を着ることで大学生協や西新商店街でお得なサービスを受けたり、着付け場所で西新・姫浜などのお祭りや花火大会のポスターを紹介したりした。

ナポレオンは当日、本学キャンパスおよび西新商店街でアンケート調査を行った結果、このイベントは満足度が高くリピート率の高いことがわかった。一方、実行委員がTwitterで情報拡散を続けたものの、雨天や周知期間が短かったなどの理由により、浴衣を着る学生は例年より少なかった。

毎月行っている校区の防犯パトロールについても同様に、有意義な地域交流であるにも関わらず、新たに参加する学生が少ない（毎回同じ学生）、西新在住の学生が参加していない、といった課題がみられる。したがって、学生が参加することで得る（付加）価値を明確にする、各世代に合わせて情報宣伝の方法を使い分ける、といった工夫が必要である。

#### 4. 新たな祭りの担い手：「探題神社まつり」の企画運営

本節では、2年ゼミの学生有志が中心となって企画運営した、姫浜地域での新たなイベントを紹介する。

2017年の5月に入り、姫浜でのイベントで姫浜商店会連合会の久保会長と福岡市西区役所総務部の藤尾部長に依頼されたのが、姫浜校区における新たな祭りの担い手である。下記は、「平成29年度 ふくおか地域貢献活動サポート事業」に採択され実施された、学生と地域の協働プロジェクトの概要である<sup>6</sup>。

---

6 2018年3月9日に開催された、同サポート事業報告会での展示パネルより引用。

**【姫浜鎮西探題歴史・いこいの場・地域の絆再生事業】****(1) 課題や背景, 事業の目的**

姫浜校区にある探題神社は、鎮西探題などに関する史跡であり、昭和以前は地域が一丸となって史跡の存在を継承していく機会がありました。しかし史跡は丘陵上にあり、急斜面に防護フェンスが設置されていないなどの理由から、訪れる住民も減り、継承の機運も下がってきてしまいました。

**(2) 取組内容と助成金の使途**

姫浜探題神社周辺の危険個所に新たなフェンスを設置するなどの修復を行い、安全な場所としたうえで、イベントを行いました。神社でイベントを行うことで、地域住民の「探題」に対する関心を高めるとともに、地域の憩いの場としての再生を目指しました。助成金は主にフェンスの設置材料費や、人件費・広報費用に活用しました。

**(3) 工夫した点**

事業の実施に地域の大学生を巻き込むことで、若年層に対し姫浜の歴史を伝え、興味を持ってもらう機会としました。また、地域活動を体験してもらうことで、地域活動の担い手としての将来を考えてもらうきっかけ作りにもつなげることができました。

**(4) 事業の効果や展開**

新しくフェンスを設置したことで、フェンス外側の急斜面に落ちる心配も減り、神社をより安全な場所とすることができました。今後は地域住民が集まるイベントを継続的に開催することで、姫浜探題への関心を高めるとともに、神社を地域のシンボリックな憩いの場となるよう活動を続けていきます。

◎協議体：姫浜探題神社歴史保存会（福岡市西区姫の浜2丁目）

〈構成団体と役割〉

- 探題神社保存会…事業の計画, 危険個所の把握および安全対策, 草刈り・清掃
- 福岡市西区役所…イベントの広報, 実施に関するアドバイス
- 姫浜校区自治協議会…イベントの周知, 草刈り・清掃, イベント実施

●西南学院大学経済学部小出ゼミ…危険個所の安全対策，清掃，イベントの企画・周知・実施

このような事業提案がされた背景には，かつての姫浜校区から姫北（めいほく）校区への分割によって，姫浜校区における歴史的資源が激減したという事情がある。M's コミュニティを含めた旧唐津街道沿いの歴史的な地域が，軒並み姫北校区になった。

この福岡県の助成事業をきっかけに，大学生のパワーとアイデアが姫浜校区で存分に生かされるようになった。特に，地域の行政組織（西区役所・姫浜校区自治協議会・姫浜公民館）が学生を的確にバックアップしてくれる点が，すべての打ち合わせに関わることができない筆者にとっては非常にありがたい。

写真2の左は，探題神社まつりに先立って行われた，フェンスのコンクリート基礎を設置している様子である。また，その右は，後日訪れて確認した完成形のフェンスの写真である。

筆者は設置作業1日目（8月7日）に参加したが，気温が非常に高く，しかも蚊が無数飛び交う中，重い資材を持って階段を何十回も上り，垂直に80cm近くの穴を延々と掘るなど，近年経験したことがないハードな活動だった。後日，探題神社を囲むようにでき上がったフェンスを見て，何か大きなことをしたような気分になった。

図表9は，2年ゼミの女子がデザインしたチラシである。彼女は部活のイベントでこういうチラシをつくったことがあるということで，おおまかな指示のみで内容はほとんどお任せだったが，わずかな時間でこのような魅力的なもの



写真2 学生と地域住民によるフェンス設置（左2017年8月7日・右同月10日，筆者撮影）



図表9 探題神社まつりのチラシ (学生作成)



写真3 探題神社まつり (2017年8月27日筆者撮影)

を作成してくれた。姪浜校区の要所にこのチラシが貼られ、また姪浜小学校を通じて各家庭に、このチラシが配布された。

まつりの当日は天候に恵まれて、多くの親子と年配の方々が集まった(写真3)。当日の運営には、西南学院大学経済学部の1・2年のゼミ生だけでなく、神学部、法学部、人間科学部、国際文化学部、そして九州大学法学部の学生有志も参加した。

学生が企画した催しは、射的、型抜き、輪投げ、ラムネ早飲み大会、〇×クイズ大会であり、やはり学生が提案した出店物は、綿菓子、かき氷、ジュースであった。

射的的的（まと）として使う数十体のマスコットは、筆者の娘たちが寄付したものであり、的を置くための特徴的な形の棚は、筆者が姫浜地域のホームセンターで安く買ったものである。この棚もこのまつりの後、姫浜公民館に寄付した。それ以降公民館の玄関に、コンパクトな「飾り棚」として縦に置かれている。

この姫浜校区の新たな祭りは2019年も、「探題さん祭り」と名称を変更し、やはり学生主導のもとで実施された<sup>7</sup>。探題さん祭りにおいても飾り棚は、射的的的置きとして活用された。

射的や輪投げ、○×クイズ大会などは子どもだけでなく、学生や大人も熱中するゲームであり、今後の祭りでも人気であり続けるだろう。ただし、祭りでも何をやるかを決めるのは、そのときの学生チームである。地域の方々は打ち合わせの場で、「以前の祭りはこうだった」と助言はするが、強要はしない。

このような学生の企画運営イベントを、大学から少し離れた地域で開催できることは、非常に恵まれているといえる。

## 5. 学生による発表機会の多様化

身近な地域でチーム活動をするだけでなく、人前でその成果をわかりやすく発表することが重要である。これは当然のこのように思えるが、学生の代表として発表せよとなると、怖気づく者が少なくない。

2017年度も何度か、学生が活動成果を発表する機会に恵まれた。個人による発表から数名で分担する発表、パソコン（パワーポイント）を使った通常の発表からポスターセッションでの発表、さらにラジオ番組の生放送出演など、学生たちはさまざまな場を経験することができた。

その中で、思わぬ表彰を受けることもあった。

写真4は、「全国まちづくりカレッジ2017 in 宇治」（京都文教大学）の懇親

---

7 2018年の祭りも準備万端であったが、台風接近のため数日前に中止となった。このとき代替日を用意していなかった反省から、2019年は早い段階で代替日を設定した。同年も台風接近でいったん中止となり、その代替日に祭りを実施した。なお、図表9のチラシデータは姫浜公民館で保管され、適宜修正を加えられて活用されている。



写真4 ご飯のおとも第1位

(2017年9月15日筆者撮影)



写真5 ポスターセッション第2位

(2017年12月16日福岡工業大学撮影)

会企画「ご飯のおとも選手権」で、3年ゼミ生が持参した福岡土産が、投票で第1位を獲得したときのものである。この3名は、その2週間前に福岡大学で開催された「私立大学環境保全協議会」の夏期研修研究会においても、事例紹介やグループワークの取りまとめで口頭発表しており、人前で話すことをむしろ楽しんでた。

また、写真5は、福岡工業大学で開催された「Q-conference 2017」のポスターセッションの投票で、優秀賞第2位を受賞したときの様子である。この受賞は、神学部・経済学部・法学部の学生4名が、訪れた人たちに熱心に説明した成果である。ポスターの筆者は最低限の指示を出し、学生たちの奮闘を後ろで見守った。

図表10は、そのQ-conference 2017に出展したポスターの一部である。

姫浜西南大学まちの基本的な説明の部分（＝取組当初から変わらず）は筆者が作成したが、それまで地域で突出した活躍をしていた学生3名に、各人が関わったプロジェクトの概要を示してもらった。それらをキャンパスサポート西南に所属するプロのデザイナーに託し、すべてを一枚のポスターに盛り込んだ。したがってこれは、教員と学生たち、デザイナーによるコラボ作品である。

Q-conference のポスター発表に姫浜西南大学まちは、計3回参加している<sup>8</sup>。

8 2016年12月10日に中村学園大学で開催されたQ-conference 2016、2017年12月16日に福岡工業大学で開催されたQ-conference 2017（本件）、2018年12月22日に九州大学で開催されたQ-conference 2018の計3回である。すべての機会において、本学の教育・研究推進課から力強いサポートを受けた。

**3 学生と地域は何を得るのか?~3段階の「参加しました」~**

法学部4年 林田 明日香

第1段階	第2段階	第3段階
大人たちの活動に加わる	自分たちでイベントを企画する	取組の枠を超えた地域活動へ
		
<b>学生のメリット</b> 社会人基礎力の向上 新たな自分との出会い 価値観が広がる 仲間との出会い 次回からも来やすくなる	<b>学生のメリット</b> 企画運営のノウハウを得る 交渉の力がつく さらに活動が楽しくなる 地域に詳しくなる	<b>学生のメリット</b> 新たなコミュニティ・新たな出会い 卒業しても活動を続けることができる 経済や西断が自分の第二の地元になる 将来地域を担う人材になれる
<b>地域のメリット</b> 人手不足の解消 行事に活気が出る 若者からアイデアをもらえる	<b>地域のメリット</b> 新たなイベントにより活性化 学生のSNS発信による地名の向上 新たな伝統づくり	<b>地域のメリット</b> 大学をまたぐ学生と部活動の交流によるつながり 将来的に地域を担う人材を確保できる 地域のファンをつくることのできる 関係構築をくまなく実行し続ける軌跡

**4 姫浜はどんなところ? ~2016年度アンケート調査概要~**

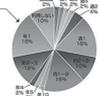
経済学部4年 桐原 望

アンケートを実施(68名)2016.9.11@姫浜商店街

**質問項目**

- 姫浜商店街の利用頻度
- 姫浜商店街を一言で表すと?
- 姫浜での生活の満足度とその理由
- イベント・企画案までの利用交通機関
- 今年参加した経済商店街でのイベント
- 今後、商店街で開催してほしい企画
- 姫浜のイチオシスポット

**商店街の利用頻度**



**姫浜のイメージ**

- おしゃれなお店が増えた
- 話しやすい
- 楽しい
- 昔ながらの街並みとカフェが可愛い
- 神々しい
- 賑やか
- 静やか
- 賑見取りが多い
- 活気がある
- 古さと新しさが同居する街
- 意外な発見がある

**課題**

- 美味しそうなお店があるけど、なかなか行けない
- 楽しい
- 寂れている
- シッターが溜まってしている
- 今一つ
- 商店街? 初めて知りました
- PR不足な感じがする
- 前を知っているのに、寂しい方がいいところ

**5 M'sとよかっつて? ~地域の文化・交流の場としてのコミュニティ図書館~**

神学部2年 上條 晋之介

**学習支援**

- 大学生常駐による学習支援
- 学習者のつまづきを減らし、自主的な読書学習活動につなげます
- 自ら生涯・書籍・情報をもとに学ぶための意欲を、大学生を巻き、地域とともに、みんなで高め共有します。

**貸出販売**

- 書籍・雑誌による地域文化の向上
- 書籍によるシェアリングエコノミー(共有経済)の実現
- 書籍の地域共有モデルが経済的・社会的に成功したかの検証
- 物品共有による経済環境モデルの検証

**ミニミニカフェ**

本を読みながら、勉強しながら、ちょっとした飲み物を飲めるようになります。



図表10 出展ポスターの一部 (学生原案, キャンパスサポート西南作成)

パソコンを使って短時間で言う発表とは違い、説明を聴きたい人が一人でもポスターの前に来たら説明を始め、あらゆる質問に対して、誠意をもって答えなければならない。したがって、学生たちはポスターで表現されている内容の理解に加えて、ポスターで「表現されていない」ことを、自分の経験を踏まえて即座に述べる、という能力が要求される。

ポスターセッションを乗り切った学生は例外なく、どのような場に行っても話せるのは間違いない。

6. 小 括

本稿では、西南学院大学教育インキュベートプログラムとして遂行された姫浜西南大学まち(2015年度後期~2018年度)の記録報告の3回目として、2017

年度の主な取組を紹介した。

冒頭の活動マップには多くの写真を掲載したが(1.)、本稿で取り上げたのは、3年ゼミを中心としたチーム編成(2.)、姫浜・室見・西新での4チームの活動概要(3.)、2年ゼミ有志を中心とした探題神社まつりの企画運営(4.)、全国まちづくりカレッジやQ-conferenceにおける学生の活躍(5.)である。中央区地行浜のヒルトン福岡シーホークとの実践講座を通じた産学連携については、2016年度の記録(小出(2019))と重複する点が多いため、本稿では割愛した。

2015年度、福岡市の西区で活動を始めたのをきっかけに、2016年度は早良区と中央区で、そして2017年度は、早良区と西区の間を流れる室見川での活動も始めることになった。早良区北部の東西が短いという事情もあり<sup>9</sup>、大学から3つの行政区の活動拠点に歩ける近さというのは、おそらく全国でも珍しい。ちなみに、2019年度に発足した西南まちづくりラボは、第一の特徴として、「歩いて通える地域連携」を掲げている(図表11)<sup>10</sup>。

以上のように、2017年度は地域との連携体制がより進んだ一方で、学生が地域で「本当にやりたいこと」は何なのかを知りたくなった。というのは、筆者や先輩学生が開拓した地域や拠点というものに後輩学生が縛られてしまい、自由な発想ができていないのかもしれない、と考えたからである。

地域の人がやりたいことに学生が常に共感できればよいが、そうでない場合、学生にとっては「やらされている感」が高まってくる。その証拠に、一度はイベントサポートで参加するが、二度と参加しない学生は、依然として多い。それは、イベントの内容や主催者の側にも何らかの問題がある。

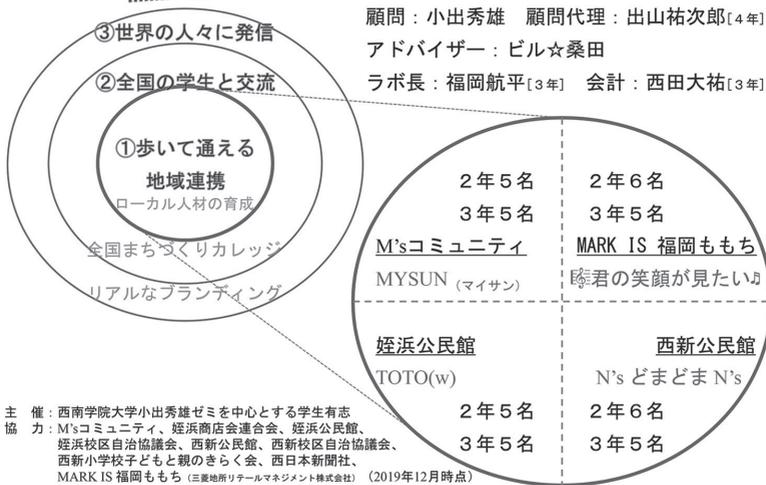
そこで、姫浜西南大学まちの最終である2018年度には、3年ゼミと2年ゼミがそれぞれやりたいことをやる、「地域フリー」と「テーマフリー」を思い

---

9 Google マップで距離を測定すると、樋井川の百道浜橋(中央区と早良区の境)と室見川の愛宕大橋(早良区と西区の境)の直線距離は約1.6kmである。よかトピア通りに沿った道なりでも、2km程度の距離かと思われる。

10 ゼミを中心とするチームは年度初めに4つ結成されたが(MYSUN, TOTO(w), N'sどまどまN's, 睦君の笑顔が見たい君), そのあとさらに4チームができたため、2019年度は計8チームが西南まちづくりラボとして活動を行っている。後発のチームはすべて、学部や学年を超えたメンバーで構成されている。

# 西南まちづくりラボ (略称: 西南まち、2019年度)



図表11 西南まちづくりラボの構造 (2019年末時点, 筆者作成)

切ってやってみた。前例踏襲を覆すこのような方針の転換も、地域連携を標榜しているゼミとしては珍しいと思う。しかし、大学の教育研究事業として対照実験を行うには、最終年度のこのタイミングを逃してはならなかった。

その結果、どのような成果が得られたかは、次稿で述べる。

## 7. 2017年度の姫浜西南大学まちの関連情報

### 【新聞記事】

- ①「姫浜商店街にシニアサロン 毎週金曜日 学生らと交流」、『西日本新聞』2017年5月13日朝刊, 23面。
- ②「若者と交流の場に 姫浜商店街シニアサロン 温かい雰囲気笑顔に 週替わりで講座「多数の参加を」」、『毎日新聞』2017年5月30日朝刊, 23面。
- ③「西南大生 商店街で勉強指導 西区姫の浜 小中高生を対象に ゼミの一環で取り組み」、『西日本新聞』2017年6月21日朝刊, 20面。

- ④「まちナビ 姫浜探題神社まつり」, 『西日本新聞』2017年8月25日朝刊, 27面。
- ⑤「〔西日本新聞社広告ページ〕 車と環境の未来を考える アクアソーシャルフェスワークショップ 来月11日, 福岡市早良区・西南学院大学」, 『西日本新聞』2017年8月28日夕刊, 7面。
- ⑥「はなしの横丁 探題神社まつりにぎわう」, 『西日本新聞』2017年9月2日朝刊, 23面。
- ⑦「熊本地震・豪雨 支援のマルシェ 姫浜住吉神社などで文化祭 熊本出身の食堂店主呼びかけ」, 『朝日新聞』2017年9月25日朝刊, 27面。
- ⑧「姫の浜文化祭にぎわう 熊本地震 九州北部豪雨 被災地支援 売上金の一部を寄付」, 『毎日新聞』2017年9月25日朝刊, 25面。
- ⑨「学生と商店街活性化 接点つくれば大人も元気に」, 『西日本新聞』2017年10月6日朝刊, 17面。
- ⑩「〔西日本新聞社広告ページ〕 福岡市の室見川で清掃活動」, 『西日本新聞』2017年10月15日朝刊, 8面。
- ⑪「まちナビ めいのはまハロウィン&学生市場」, 『西日本新聞』2017年10月27日朝刊, 27面。
- ⑫「〔トヨタ自動車広告ページ〕 渡り鳥の生息地を守ろうプロジェクト in 福岡」, 『西日本新聞』2017年11月12日朝刊, 3面。
- ⑬「〔西日本新聞社広告ページ〕 大学生などが企画に挑戦 第3回西南ワークショップ」, 『西日本新聞』2017年12月17日朝刊, 6面。
- ⑭「はなしの横丁 富山県の学生が商店街を視察」, 『西日本新聞』2017年12月27日朝刊, 21面。

### 【その他紙面】

- ①「環境ニュース 西南学院大学経済学部 小出秀雄教授インタビュー」, 私立大学環境保全協議会『私大環協ニュース』第62号, 2-3頁, 2017年6月。
- ②「他にも多彩なプロジェクトが進行中! No.3 姫浜西南大学まち」, 『西南学院大学2018年度入学案内』13頁, 2017年6月。

- ③「知が開く自由の扉 地域の中で「経済学」を学ぶ。その経験が生きた知識を与えてくれる。 経済×地域との交流」, 『西南学院大学2018年度入学案内』104頁, 2017年6月。
- ④「巻頭特集 祭り復活を願う 探題神社まつり」, 『マイタウン姫浜』10月号, 表紙および4-5頁, 2017年9月22日。
- ⑤「探題まつりを終えて」, 姫浜校区自治協議会『自治協だより』第143号, 2017年10月1日。
- ⑥「西南学院大学ならではの実践・支援プログラム! (姫浜西南大学まちの紹介)」, 『SEINAN Spirit』No.204, 11頁, 2018年3月12日。

### 【テレビ・ラジオ報道】

- ① J:COM チャンネル「山田としあきのひと駅歩こう!! 姫浜を盛り上げよう! M's コミュニティとは?」(小出), スーパースター美容室(西区姫浜駅南), 2017年7月22日(初放送)。
- ② J:COM チャンネル「デイリーニュース 探題神社まつり」(学生), 探題塚(西区姫の浜), 2017年8月29日(初放送)。
- ③ RKB ラジオ生放送, ミラクルデザインブーク® 実践講座の紹介(小出・星井講師・学生), 西南コミュニティーセンター(早良区西新), 2017年12月1日。

### 【表彰】

Q-conference 2017ポスターセッション優秀賞第2位, 「西南学院大学 学生と地域が得ること～姫浜西南大学まちを通じて～」, 九州地域大学教員改善FD・SDネットワークより, 2017年12月16日。

